

第29回詩歌創作大会が開催されました

五月十一日（土）、吉浦まちづくりセンターにおいて、吉浦小・吉浦中の児童生徒参加のもと、多くの詩歌の力作作品が、生まれました。また、お茶席が設けられ、茶道（お抹茶）のころにもふれました。
入賞作品は、次のとおりです。

特選

平せいのごううさいがい わすれない 平和をねがう 吉うらの町

三年 平岡 怜真

校庭の 桜まいちる 春のとき 新しい組 トキドキするな

五年 津曲 花歩

入選

うぐいすが さえずりしてる 石の上 春をよんでる 川のはとりで

二年 大賀 心愛

おとうとが かわいすぎて しかたない わたしのゆめは はいくしです

二年 平川 姫陽

よしうらは いつもすかな まちなのに 祭りのときは とてもにぎやか

三年 佐藤 沙也佳

カニ祭り おにとばくろう こわすぎて 吉つら中の 子どもがさわぐ

三年 二反田 結香

よしうらの 元気の元は 元気汁 ちりめんやさい 入っているよ

三年 前浜 菜末

くもり空 低くとんでる ママつばめ すぐに帰るよ ひなが待つすへ

四年 植野 莉子

吉浦の 募金活動 やさしいな みんな喜び ひがいで受けた人

四年 清田 寛士

春の日に さくらの下で たまて箱 ふたを開けると 花見べん当

四年 寺田 莉々奈

学校の プール開き 六年の すがたキラキラ まねしてみたい

四年 吉田 結香

日本よ いつでも平和 ありがとう 令和の時代 世界を変える

五年 竹村 継史



特選

体育祭 光り輝く 生徒たち 汗かきながら 学年リレー

一年 石崎 心都

入選

居残りて 教室からの 見る景色 海に浮んだ きれいな夕日

一年 大島 生依

先輩の 背中追いかけて 努力する それが一年の 役割かな

一年 森 勇海

吉浦の 中学校の 校舎内 海の香りが 運ばれてくる

一年 川崎 友子

吉浦が 守る伝統 カニ祭り 神輿がついで 太鼓をたたく

一年 賀谷 心咲

緑色 初体験に 挑戦し 大人の味に 悪戦苦闘

一年 松尾 柑奈

友達と 自然いっぱい 吉浦で 雲をみながら 遠足気分

一年 福井 美侑

吉浦の 人気の祭り カニ祭り 外国人も 愛する祭り

一年 二村 雄大

カニ祭り 玉かえしてる 祭りの日 当たらないけど すこく楽し

一年 山本 悠介

